

次期習志野市子どもの読書活動推進計画の策定にあたって

反映すべきご意見

- 保護者へ読書の大切さを伝えていくとともに、保護者と子どもが一緒になって読書を楽しめる環境づくりや活動を実施すること。
- 本と人をつなげること、また、本を通して人と人がつながることを意識した計画を策定すること。
- 乳幼児期からの読書の習慣化が大切であることから、幼稚園・保育所・こども園や市立図書館等関係機関の連携・協力体制を深め、乳幼児がさまざまな読書体験を得られる取組を実施すること。
- 本を読むことを押しつけるのではなく、子どもたちが自ら読書の楽しさに気づき、親しむことができるような取組を行うこと。
- 障がいがある子どもや日本語を母語としない子どもなどを含め、全ての子どもたちが読書を楽しめる環境づくりを実施すること。